

【書類名】 発明届
【整理番号】 ※学術研究・産学連携本部で記入。
【あて先】 国立大学法人富山大学長 殿
【提出日】

【届出者】
【所属】
【職位】
【氏名】
【TEL】
【E-mail】

【発明の名称】

【富山大学 発明者】

【氏名】
【氏名英文】
【所属】
【職位】
【発明への寄与率】 ※%もしくは分数表示。
※発明者が複数の場合は【富山大学 発明者】を繰り返す。
※寄与率は個別に記載。（補償金の支払いに係わるため）

【学外発明者】

【氏名】 ※学外の発明者は、同一の所属機関の者は、列記する。
【所属】
【所属機関全体としての発明への寄与率】 ※%もしくは分数表示。
※機関全体の寄与率を記載。
※学外機関が2以上ある場合は、【学外発明者】を繰り返す。

【発表】 1. 発表済み 2. 発表予定あり 3. 発表予定なし

【番号】
【発表先】
【発表日・予定日】

※概要が最初に公開される日を記載。

【発明に係わる研究費】 1. 受託研究費 2. 共同研究費 3. 補助金（科研費など）
4. 寄附金（委任経理金） 5. その他（運営費交付金、校費など）

【番号A】
【番号B】

※番号Aには係りのあるもの全てを、番号Bには一番多いものの番号を記入。

※補助金の場合は、補助金名称を記載。（課題番号がある場合は課題番号も）

【本発明に係わる契約】 1.有り 2.無し

【番号】

【契約先】

※受託研究の成果の場合は、委託機関（AMEDなど）を「必ず」記載。課題管理番号がある場合は、課題番号も記載する。（出願等の報告義務がある場合が多いため）

※発明に関して、発明者個人で何らかの契約があった場合、契約書等のコピーを提出すること。

【共同出願の希望】 1.有り 2.無し

【番号】

【先行技術調査】

【調査】※データベース，方法

【結果1】※発明者自身に係わるもの（出願番号・発明の名称，論文名・巻号・頁・発行年など）

【本発明との差異，本発明の優位性】

【結果2】※他人に係わるもの（出願番号・発明の名称，論文名・巻号・頁・発行年など）

【本発明との差異，本発明の優位性】

【発明の内容】

【技術分野】

※対象技術の産業分野，発明を適用できる装置，物品などをあげる。

【背景技術】

※文献や特許公報の内，内容的に近いものをあげ説明する。

【発明が解決しようとする課題】

※従来技術の問題点，新たなニーズについて説明する。

【課題を解決するための手段】

※どのような手段・方法で解決するのか説明する。

【発明の効果】

※従来技術よりも有利な点を記載。データなど用いた説明。

【発明を実施するための形態】

※実際に行った実験・試験，試作の例。それらの理論的説明。

*図面があれば添付。

【産業上の利用可能性】

※具体的な応用分野での発明の完成度（着想段階，展開中）を含めて記載。